

パナマ内政・外交（2021年6月定期報告）

【ポイント】

- ファイザー・ビオンテック社のワクチンが毎週パナマに到着するとともに、アストラゼネカ社のワクチン（直接契約分）もパナマに到着した。
- 9日より、女性のアストラゼネカ社ワクチン接種対象年齢が50歳から30歳に引下げられた。
- 7日より、パナマ首都圏等における夜間外出禁止時間が延長された。
- 7日、外務省において、我が国の対パナマ無償資金協力による医療供与機材の引渡式典が行われた。
- 8日、コルティソ大統領は、気候変動対策の一環として、コイバ海嶺山脈管理資源区域の境界拡大に係る大統領令に署名した。
- 1日から3日、モイネス外相はNYを訪問し、グテーレス国連事務総長等と会談した。
- 9日及び10日、モイネス外相はコスタリカを訪問し、SICA・スペイン特別首脳会合及びSICA外相会合に出席した。
- 16日、モイネス外相はパナマを訪問したフィリッポ・グランディ国連難民高等弁務官と会談した。
- 24日、コルティソ大統領はオンラインで開催された第4回SICA・韓国首脳会合に出席した。
- 24日から30日、モイネス外相はスペイン及びベルギーを訪問し、ゴンサレス西外相、ウィルメス・ベルギー外相及びボレル外務・安全保障政策上級代表等と会談した。
- 28日、パナマを訪問したヌーランド国務次官は、コルティソ大統領、カリソ副大統領及びバスケス運河庁長官と会談した。

【本文】

●内政

1 新型コロナウイルス関連：

(1) ファイザー社ワクチン第17便～第21便の到着

6月も、ファイザー・ビオンテック社（以下、ファイザー社）のワクチンが毎週パナマに到着した。6月末までに、パナマに到着したワクチン総数は185万1,030ドースにのぼり、月末までに155万3,711ドースのワクチン接種（ファイザー社及びアストラゼネカ社ワクチン）が実施された。

(2) アストラゼネカ社ワクチンの到着

12日、パナマ政府が、アストラゼネカ社（以下、「ア」社）との直接契約

により調達した新型コロナウイルスワクチン20万4,000ドースがパナマに到着した。今次到着により、COVAXファシリティーの枠組み（11万400ドース）及び直接契約（40万8,000ドース）を含めた「ア」社ワクチン合計到着数は、51万8,400ドースとなる。

（3）女性のアストラゼネカ社ワクチン接種対象年齢の引下げ

（パナマでは、当初「ア」社ワクチン接種の対象者を、50歳以上の女性及び30歳以上の男性の希望者とする方針を公表していたが、）7日、スクレ保健大臣は、9日より、「ア」社ワクチン接種における女性の対象年齢を50歳から30歳に引下げる旨を発表した。なお、今般、女性の対象年齢の引下げが行われたものの、「ア」社ワクチン接種は、引き続き希望者への接種とする方針に変更はない。

（4）夜間外出禁止時間の延長等（パナマ首都圏及びサンミゲリート市）

1日、スクレ保健大臣は、7日より、パナマ首都圏及びサンミゲリート市において、夜間外出禁止時間の延長（午後10時から午前4時まで。従来の午前0時より2時間繰り上げ、終了時間は同じ）及び商業施設の営業時間の短縮（午後9時まで。従来の午後11時から2時間短縮）の措置につき発表した。

2 我が国の対パナマ無償資金協力による医療供与機材の引渡式典の実施

7日、外務省において、対パナマ無償資金協力による医療供与機材の引渡式典が行われ、パナマ側よりモイネス外相が出席した。同式典において、モイネス外相は、「日本より総額550万ドル相当の医療機材の支援を受けたが、うち過般型超音波画像診断装置12機、移動式超音波スキャナー15機がパナマに到着し、保健省に引き渡されることとなった。日本政府との友好と協力を謝意を表明したい。」旨述べた。

3 気候変動対策

8日の世界海洋デーに、コルティソ大統領は気候変動対策の一環として、自然遺産保護のためにコイバ海嶺山脈管理資源区域の境界拡大に係る大統領令に署名を行った。同措置により、気候変動対策の行動に関するパリ目標において設定された、2030年までに世界の海洋の30%を海洋保護区とする国際社会の目標を9年前倒しで達成することとなった。なお、コルティソ大統領は、ジョン・ケリー米国気候変動担当大統領特使がパナマのかかる取組を賞賛する動画をツイートした。

●外交

1 モイネス外相のNY訪問

1日から3日、モイネス外相はNYを訪問したところ、訪問概要以下のとおり。

(1) 1日、モイネス外相は、国連のハイレベルテーマ別討論会「海洋生物、汚染のない、保護された海洋と気候変動対策」に出席した他、Ashraf El Nour 国際移住機関 (IOM) NY駐在代表と会談した。

(2) 3日、モイネス外相は、グテーレス国連事務総長と会談をした。同会談において、同外相は、パナマの重要な外交政策の一つとして、国際機関において、パナマの代表者を更に増やすことや新たなパナマの立候補者の擁立することに対して関心を表明した他、気候変動やジェンダーの平等、国連にも警告を促している米州大陸の不法移民問題等、パナマの外交アジェンダにつき共有を行った。

2 モイネス外相のコスタリカ訪問 (SICA・スペイン特別首脳会合及びSICA外相会合への出席)

9日及び10日、モイネス外相はコスタリカを訪問し、SICA・スペイン特別首脳会合及びSICA外相会合に出席したところ、訪問概要以下のとおり。

(1) 10日、モイネス外相は中米統合機構 (SICA) ・スペイン特別首脳会合にコルティソ大統領の名代として出席し、技術の移転及び革新を含む持続可能で環境に配慮した回復、並びにSICA諸国及びスペインの域内協力につき協議した。また、ニカラグア情勢に関し、逮捕された政治リーダーの釈放と国際的な選挙監視団を伴う公正かつ自由な包括的な選挙の保証を求める声明の発表につき合意した。

(2) コスタリカ訪問中、モイネス外相はサンチェス西首相、アルバラード・コスタリカ大統領、ジャマティ・グアテマラ大統領、ウジョア・エルサルバドル副大統領等とも会談した。なお、SICA・スペイン特別首脳会合にはフィリッポ・グランディ (Filippo Grandi) 国連難民高等弁務官務官 (UNHCR) 及び Dante Mossi 中米経済統合銀行 (CABEI) 総裁等も出席した。

(3) 9日、モイネス外相はSICA外相会合に出席し、ポストコロナの経済回復につき協議をした。なお、同日、モイネス外相はSICA諸国外相とゴンサレス西外相の特別会合にも出席し、中米地域とEU諸国間の協力問題についても協議を行った。

3 モイネス外相とグランディ国連難民高等弁務官との会談

(1) 16日、モイネス外相はパナマを訪問中のフィリッポ・グランディ国連難民高等弁務官と会談し、米州大陸における大幅な不法移民の増加により、同地域が直面している課題について協議した。

(2) モイネス外相は、地球規模の課題に対する地球規模の解決策を得るためには、課題を国際化する必要がある。不法移民の状況が深刻化することを防ぐ唯一の方法は、積極的、包括的かつタイムリーに課題に取り組むことであると述べた。他方で、グランディ高等弁務官は、パナマが人道的観点からのアプローチを維持していることにつき謝意を表した。

4 コルティソ大統領のオンラインSICA・韓国首脳会合への出席

24日、コルティソ大統領は、オンラインで開催された第4回SICA・韓国首脳会合に出席したところ、同会合においてコルティソ大統領は以下要旨のとおり発言した。

(1) 今後数か月、数年間の我々にとっての大きな課題は、医療、経済及び社会の回復である。我々は、困難で複雑な状況に直面しているが、この危機的な情勢は、我々がより公正、公平かつ包摂的な社会を構築する機会でもある。新型コロナウイルス感染拡大により、医療体制の脆弱性が一層明らかとなり、中米地域に影響を及ぼす貧困、不平等及び失業問題を浮き上がらせた。

(2) 技術開発とイノベーションに基づく国際市場において主導権を握り、SICA地域の競争力を向上させる上で非常に有益な経験を有する韓国のような戦略的パートナーを有することは喜ばしい。

(3) なお、同オンライン会合には、韓国、ベリーズ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、ドミニカ共和国の政府首脳が出席した。

5 モイネス外相のスペイン及びベルギー訪問

24日から30日、モイネス外相はスペイン及びベルギーを訪問したところ、訪問概要以下のとおり。

(1) 24日、スペインを訪問したモイネス外相は、ゴンサレス西外相と会談し、両国の政策協議のメカニズムの創設に向けた覚書に署名した。

(2) 同日、モイネス外相は、Teresa Ribera第4副首相兼環境移行・人口問題相と会談した他、王立エルカノ財団（シンクタンク）本部を訪問し、今後のパナマとの協力について協議した他、スペイン商工会議所との会合では、パナマに対する新たな投資の可能性につき協議した。さらに、25日、同外相はグアダラハラ（Guadalajara）のINSUDグループ本社（アストラゼネカのワクチン製造にも参加する医薬品開発企業）を視察した。

(3) 30日、モイネス外相は、ジョセップ・ボレル（Josep Borrell）欧州連合（EU）外務・安全保障政策上級代表兼欧州委員会上級副委員長と会談し、EUとパナマの定期的な政策対話の開設に向けた二国間協議にかかる覚書に署名し

た。

(4) 同30日、モイネス外相は、ソフィー・ウィルメス (Sophie Wilmes) ベルギー外相と会談し、政策対話の強化及び二国間の投資を促進していくことで一致した。さらに、モイネス外相はベルギー訪問中、デイビット・マカリスト (David McAllister) 欧州議会外務委員長等とも会談した。

6 ニーランド米國務次官のパナマ訪問

27日から30日、ビクトリア・ニーランド (Victoria Nuland) 米國務次官は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に対する課題を協議することを目的として、パラグアイ、パナマ、及びエルサルバドルを訪問した。

(1) 28日、パナマを訪問したニーランド國務次官はコルティソ大統領、カリソ副大統領及びバスケス運河庁長官と会談した。また、同國務次官は生物多様性博物館を視察し、環境関連のNGO団体等の代表らとパナマの水資源の重要性について意見交換を行った。

(2) コルティソ大統領との会談には、パナマ側より、アレクサンダー経済財務大臣、ピノ治安大臣、テワニー内務大臣及びカリソ外務次官 (二国間担当) が同席した他、米国側より、Julie Chung米國務省筆頭次官補代理、Daniel Erikson米国防総省国防次官補 (西半球担当)、Megan Oates米ホワイトハウス国家安全保障会議次長 (中南米担当) 及びStewart Tuttle駐パナマ臨時代理大使が同席した。

(了)